

棚

田

ライステラス

第14号 1999.6.30

(季刊・年4回発行)

発行/全国棚田(千枚田)

連絡協議会

編集/ふるきやらネットワーク

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-23-29-202

TEL 03-5389-9937/FAX 03-5389-9983



99 棚田フォトコンテストII (ふるきやらネットワーク主催) 最優秀賞「田植えの時」津森 吉孝
(撮影地: 山口県油谷町)

棚田の写真から

JCIフォトサロン館長・衆議院議員

森山真弓

ふるきやらネットワーク主催の「棚田フォトコンテストII」が無事終了しました。私は、4年前の「棚田フォトコンテスト」のときから、審査委員の一人として、棚田の写真は何枚と見る機会をいただいております。4年前に比べるといろんな意味に関心が高まってきたことは嬉しいことで、今回もたくさんのすばらしい作品に出会えました。

写真たちは、さまざまなメッセージを語りかけてきます。まず、「棚田」と一口でいっても、全国各地、その姿はさまざまであり、どれ一つとして同じ景観はなく、その多様さに驚かされるばかりです。それは、先人たちが、地域地域に応じ、地理的特徴を踏まえながら苦勞し、切り開いた結果であり、見事に水や地形を生かしてきた知恵と労働の集積であることをものがたっています。

そしてもう一つ、重要なことがあります。それは、棚田の労働は女性が担っているということです。前回は今回のフォトコンテストでも、そこに映る人物に、なんと女性の多いことか。そして、その傍らで働くお年寄りの姿……。これが、現代の農村なのです。

写真は、時代を写していきます。歴史の蓄積が生んだ美も、現代社会がもたらす陰も、カメラは納めていきます。

夏に「棚田パノラマ体験展」が東京日本橋三越本店で開催されると聞いています。そこに、さまざまな棚田の写真が並び、私たちに何か、メッセージを投げかけてくれるでしょう。そのメッセージを心の眼で受け止めていきたいと思ひます。

宮城県丸森町

県最南端に位置し、町の中央を東北の大河、阿武隈川が貫流し、本・支流沿いの緑豊かな深谷に、数多くの田畑が棚田状に点在し、美しい農村景観をつくり出しています。清流での稲作と緑の大地で牛が育む酪農が盛んな農業の町です。そのほか、東北屈指の古墳群や多くの遺跡、古城、近世の豪館などがある歴史と文化あふれる里です。ぜひ、丸森町を体験してください。<こんな試みやっています!>

- 平成7年から農村生活（食・環境・生活）を体験できる交流事業の実施を行っています。
- 平成10年から「親子で学ぶ日曜農学校」を開催しています。田植えから稲刈り、サツマイモ植えから収穫まで、親子で楽しく農業体験をしてもらっています。
- 平成12年4月からは、東北初の「滞在型市民農園」（16区画）を開園します。自然とふれあい、地域との交流をしていただこうと思っています。

新潟県松之山町

信濃川支流洩海川の源流域にあり、冬は3mを越える雪に覆われます。ここは、平地が少なく、耕地のほとんどが棚田で、地形が複雑なため大小さまざまな棚田が等高線にそって点在しています。またブナ林や杉林とのコントラストが美しく、ブナ林「美人林」でのコンサートも好評です。そのほか日本三大薬湯の松之山温泉もあります。現地へ足を運んで、美しい棚田を守っている人たちの苦勞を知ってください。<こんな試みやっています!>

- 「たんぼオーナー」5a20区画。3年間契約のため次回は平成13年3月に募集します。年会費9万円(管理費含む)。白米で160~180kg配布。
- 「農業体験ツアー」・田植えと山菜採り、・草刈りとホタル鑑賞、・稲刈りとキノコ採り
- 「棚田支援市民ネットワーク」との連携による棚田での農作業体験。
- 「越後田舎体験」。都市の小中学生の農作業や自然体験の受け入れ。(学校、クラス単位)

新潟県山古志村

わが村は、澄んだ空気、豊かな緑、そして山腹を可能な限り切り開いて、頂きまで続く「棚田」と「棚池」が見ものです。

「棚池」は、棚田を池に変え、錦鯉を飼っています。これらは、「泳ぐ宝石 錦鯉」といわれ、山古志地方の水質、土質等が錦鯉の飼育に適しており、古くから愛育されています。清らかな水と伝統の技法で育てられ、錦鯉発祥の地にふさわしく、国内はもちろん、海外からも高い評価を得ています。

そのほか、闘牛「牛の角突き」は、約1000年の伝統を誇る神事で、昭和53年には、国の重要無形民俗文化財に指定されています。一生に一度、江戸時代から続く闘牛と山古志村発祥の錦鯉の鑑賞においでください。<こんな試みやっています!>

- 現在、検討中です。

宮城県栗駒町

県の北西端、栗駒山の麓に位置し、北上川の支流、二迫川、三迫川が町の中央を流れ、その流域に農耕地が開け、集落が構成されています。栗駒地区の棚田にも、この美しい水流が見られます。豊かな大自然に囲まれた町内には、「文字勘句」「神楽」「藍染め」などの地域文化がいまも継承されています。「山車まつり」や「くりこま高原ふれあいまつり」(栗駒高原牛を十分に楽しめる秋祭り)などもあります。<こんな試みやっています!>

- 「森林体験交流活動」として東京都北区の方々と森林・農業体験など交流を図っています。
- 「くりこま高原自然学校」では、さまざまなアウトドア・プログラムによる自然との交流を行っています。
- 「町営深山牧場」では、アイスクリーム・ハム・ウィンナーの手づくり体験ができます。
- 農林水産物直販所「受藍人・文字」は、新鮮野菜や郷土料理の提供、藍染め体験ができます。

新潟県安塚町

安塚町の棚田は、地すべりが起こりやすいなど地理的条件が厳しいところです。そんな中でも、機械を入れるなど改善をしてくられた棚田が多いのが特徴。しかし気候風土に恵まれており、土質が良いことからおいしいお米がとれます。四季がはっきりしており、温泉に、スキー場、雪国の文化が残る町中が観光地です。<こんな試みやっています!>

- 「コシヒカリオーナー制度」を行っています。
- 集落で民宿をつくり、グリーン・ツーリズムを行っています。
- 広域連携で「田舎体験プログラム」で、修学旅行など田植えなどの農作業体験のほか、自然・山村体験の場を提供しています。
- 地元小学生が、農作業を体験し、棚田を学んでいます。昨年は、棚田を教育の場に生かすテキスト「棚田はエライ棚田おもしろ体験ブック」(旧「棚田ワークブック」)(農文協刊)の作成協力を行い、全国に発信しています。

新潟県高柳町

県南西部、刈羽郡の最南端に位置し、町の中央部を鑄石川が南北に貫流しています。河川沿いにわずかな平地が点在するだけで、起伏の激しい山間に19の集落が散在しています。典型的な日本海側気候で、根雪期間が120日に及ぶ豪雪地帯です。地質が若く、全町が地すべり地帯とあってよく、こうした条件の悪い水田ですが、古来より住民の生活を支え、豊かな人間性を醸成してきました。昭和60年代から町興しの活動が活発となり、「農山村滞在型交流観光構想(じよんのび村整備構想)」をまとめました。平成7年までに「じよんのび村」を整備し、他地域、都市からの受け入れ体制ができています。<こんな試みやっています!>

- 「じよんのび村」で滞在しながら、さまざまな体験・交流ができます。
- 「かやぶきの里」での農村交流ができます。
- 今後、長期滞在での田舎丸ごと体験の方法を検討中!

「棚田パノラマ体験展」

出展自治体紹介

「棚田パノラマ体験展」のメインエリア、体感エリアに立ち並ぶ写真の出展自治体を紹介します。各地域からアピールしていただきました。会場いっぱいに一挙公開する、全国の棚田をお楽しみに。

千葉県鴨川市

房総半島の中核都市として、首都圏からは「海浜リゾート地」として親しまれているところです。首都圏から車で約1時間足らずで来られる鴨川市の棚田は「東京から一番近い棚田の里」をキャッチフレーズにしています。市の西部、嶺岡山系の400m以下の山並みの麓、大山地区には、まとまった棚田があります。中でも小金地区にある375枚3haの「大山千枚田」は、天水(雨水)が頼りの美しい千枚田です。<こんな試みやっています!>

- 平成9年度から鴨川市リフレッシュビレッジ事業として、グリーン・ツーリズムを推進し、田植え、稲刈りツアーなどを受け入れています。
- また「棚田支援市民ネットワーク」との交流による棚田の保全活用のプログラムを展開中。
- 平成10年度には「棚田シンポジウム」とふるさとキャラバンミュージカル公演で地域興し。
- 平成12年度、オーナー制度を開始!
- また大山千枚田の写真コンテストを計画!

新潟県大島村

県南西部、長野県境に位置する典型的な山間棚田地帯。棚田は、村の中心部を流れる保倉川両岸に広がっています。先人たちは、耕地を求め、山の奥へと斜面を切り開き、川の源流近くから等高線沿いに長い用水路を築き、中下流の水田に水を供給しています。さらに雪解け水や雨水を堤に貯め、渇水期に備えました。雪国地域農業の文化を育んできた棚田は、村の伝統であり、かけがえのない財産として、いまに伝えています。また「音楽村宣言」をしており、コンサートやレッスン活動が定期的に行われます。<こんな試みやっています!>

- 「田んぼオーナー制度」をしています。
- 「ふるさと会員制度」には農作業体験やツアー、四季折々の特産やふるさと便りを届けます。
- 「ふるさと体験村」では、農作業や雪国生活体験、自然観察など多様な体験ができます。
- 「山菜まつり」「きのこまつり」「そばまつり」などの催事も定期的に行っています。

富山県氷見市

氷見市は能登半島のつけ根にあり、棚田のある長坂地区は、標高200mぐらいに位置しています。この棚田は、鳥瞰的に富山湾が見え、その向こうには、3000m級の立山連邦を望むことができる風光明媚な棚田です。基盤整備がなされているため、比較的作業がしやすく、500~1500㎡の棚田が整然と連なっています。また氷見市は、美しい自然景観とともに古い歴史をもち、万葉をはじめとする豊かな文化財や良質の温泉にも恵まれ、四季を通じて訪れる観光客に好評を博しています。

<こんな試みやっています!>

- 平成9年度より「ひみキトキト地球元気村」が、夏に開催されています。ここで、稲刈り体験ツアーなどを実施しています。
- 平成11年度より「棚田オーナー制度」の実施。1区画100㎡(30坪)の田んぼを年額3万円で貸し出しています。秋には、玄米40kgと農業特産品をプレゼントしています。

石川県珠洲市

日本海に突き出た能登半島の先端に位置し、三方が海に囲まれていて、長い海岸線のどこでも年間を通じて磯釣りや舟釣りが楽しめるどころです。棚田は、日本海を一望できる形で、海に沿って広がっており、夕日が沈む頃、眺めるとロマンを誘っています。海岸線には、海水浴場が広がっており、7月~10月には、市内随所で個性豊かな伝統的な祭りが繰り広げられます。ぜひ、足を運んでみてください。日本海の海の幸と自然に恵まれており、みなさんとの交流を楽しみにしております。

<こんな試みやっています!>

- 「ハーブ摘みとり体験」。日本初、摘みとり体験のできるハーブ園が開園。ラベンダーを中心に500種類のハーブと花が四季折々に楽しめます。ハーブティサービスもあります。
- 「りんごのオーナー制度」。
- 外浦海岸の伝統ある揚浜塩田で、「塩づくり体験」。

岐阜県恵那市

恵那市は、大部分が丘陵山岳部で、棚田のある中野方町坂折地区は、市の中心部を流れる木曾川に注ぐ清流中野方川の上流部にあります。棚田は、標高450~580mに350枚を数え、その地より出た石で築かれた「石積み」の棚田です。つくりは精巧で、幾何学的模様にレイアウトされています。棚田のある北部地域は、数々の伝説に包まれた信仰の山・笠置山(1128m)を中心に、先史時代(5000年前)、岩に刻まれた文字・記号・文様・絵画である「ペトログラフィ」「メンヒル」等が多数点在しています。

<こんな試みやっています!>

- 都市と農村の交流施設、「アグリパーク恵那」では、観光農業等に関連した新たな産業起こしをしています。そこでの「そば道場」は大好評。
- 都市住民参加の「稲作体験」「市民農園」。
- 「恵那の味・伝承講座」では、郷土の味を広く伝えるため、平成2年より開講。講師は、地元農家の主婦による婦人グループが担当です。

長野県飯山市

関田山脈と三国山脈に囲まれ、中央に千曲川が流れる自然豊かな地域です。棚田は江戸時代に整備され、産出した石を利用した石積みが特徴的です。棚田がある瑞穂地区では、地元の青年たちが「菜の花さかせるかい」を組織し、菜の花公園を中心にたくさんのお花を咲かせ、5月の連休には菜の花まつりが開催されます。

<こんな試みやっています!>

- 「そばのオーナー制度」を企画。そば処信州「なべくら高原」で、大農場をフィールドに、種まきから収穫、そば打ちまで体験。ホテル鑑賞などのオプション、宿泊の手配もします。1区画4000円。(何区画でもOK)
- 「信濃子ども自然体験村」がこの夏、開村。文部省の指定を受けて、小学3年~6年生が土にふれ、昆虫にさわり、環境についても学習する2週間の体験プログラムです。
- 「棚田オーナー制度」実施に向けて手はじめてして、稲刈り体験等の収穫祭を予定中!

石川県輪島市

高洲山の山裾が、海に流れ込みような急斜面を切り開いて耕した千枚田は、2092枚。面積にして、わずか1町2反あまりです。水平線上に浮かぶ七ツ島、岩に砕ける白い波頭が、千枚田の幾何学模様と調和して、一つの景観をつくり出しています。

また輪島といえば、堅牢優美な「輪島塗」。さらに活気あふれる「朝市」、心を打つ「御陣乗太鼓」です。そして、最後、旅の疲れは「輪島温泉郷」でごゆっくりおくらしてください。

<こんな試みやっています!>

- ボランティアによる田植えを実施しています。いまのところ、団体参加のみです。
- 市をあげての景勝保存。
- 修学旅行に組み込んだ体験学習の場として草刈り・稲刈り等の体験学習を進めています。
- そのほか、「能登和紙の体験」や輪島塗の技法で「蒔絵体験・沈金体験」ができます。また、「ハンケチ染め体験」などもあります。

福井県高浜町

高浜町の棚田の多くは、若狭富士の呼び名で親しまれている「青葉山」のふもとにあり、その中には日本海に面した棚田地域がいくつもあります。海を見下ろせる農作業風景は、全国でもめずらしい光景と思っています。

そのほか、白砂青松の名にふさわしい海水浴場を中心にした夏期観光はもちろん、大陸の玄関口として多くの文化を受け入れ、育んできた歴史も味わえます。神社や寺院、文化や風習がいまも人々の手で大切に守り伝えられています。町の中に豊かな自然が生き、新鮮な海や山の幸、すばらしい歴史資産があるところです。

さらに今年5月末にオープンした、地球科学をテーマにしたサイエンスパーク、「若狭たかはまエルどらんど」は、見て触れて、楽しめる体験型展示です。

この夏、8/21~8/22には、科学遊園地「サイエンスワールド'99」を開催します。小中学生が普段感覚で遊べる「参加型イベント」です。

長野県更埴市

更埴市は、県北部「北信濃」の南玄関口に位置し、一目10万本の「日本一のおんずの里」です。文豪島崎藤村の作品でも有名な日本一の大河、千曲川が大きく方向を変えて、善光寺平へと流れ込む、いわば善光寺平の要といった地域で、懐捨の棚田が見渡せる景観とその眺望は、JRの日本三大車窓の一つになっています。

この5月、懐捨の棚田が、全国唯一名勝に指定され、「伝説と名月の里・国指定名勝懐捨田毎の月」ともなりました。東京から長野新幹線で90分、高速道路で150分、ぜひ、四季折々の懐捨棚田の景観をご覧ください。

<こんな試みやっています!>

- 平成8年からオーナー制度、「棚田貸します制度」がスタートし、地元保存会「名月会」のみなさんと首都圏に住んでいるみなさんが、米づくりを通しての交流を図っています。1区画(100㎡)、年額3万円で、体験コースと保全コースがあります。

富山県八尾町

八尾町は、南北にのびる細長い地形で、そのほとんどが標高500~1000mに及ぶ飛騨山脈の一部からなる山間地で構成されています。山林が80%を占め、谷深いところに棚田があります。また、300年の伝統をもつ「おわら風の盆」は有名で、体験教室などもあります。

<こんな試みやっています!>

- 「いなかの学校IN八尾」として、この夏、町内外の小学校5・6年生30人を対象に、5日間、自然体験や山村生活を行う山村・自然体験交流事業を実施します。
- 「和紙すき教室」八尾特産和紙の手すき教室。
- 「そば打ち教室」八尾特産のそば粉で。
- 現在、こんな都市交流の試みを検討中!
- ・特定の相手を対象にした交流(姉妹都市提携、ふるさと会員、学校等)
- ・産地直送型交流(ふるさとパック)
- ・会員制度型交流(特別町民制度など)
- ・オーナー制度型交流(木材、果樹、棚田など)

福井県越前町

越前町の棚田は、越前加賀国定公園の景勝地である越前岬周辺に位置し、冬には、荒々しい日本海と甘い香りと可憐な姿で群生する県花「越前水仙」のコントラストが見事な調和を醸し出す、絶景の地となります。

越前町は、漁業と観光の町で、漁業は県一の漁獲量を誇り、日本海の味覚の王者「越前ガニ」をはじめとする海の幸がいっぱいです。そのほか、温泉、海水浴、スキューバダイビングなどが楽しめます。

四季折々の海の幸と自然美が織りなす豊かなハーモニーをご満喫ください。

<こんな試みやっています!>

- 近くに「水仙学習館」があり、越前水仙を使ったグッズづくり体験ができます。
- 現在は、一時休止ですが、地元小学生の体験学習を行っていました。

鳥取県岩美町

岩美町は、県東部に位置し、兵庫県との但馬地方と県境にあり、町の北は、日本海に面し、海岸線は、リアス式海岸で山陰海岸国立公園浦富海岸区域です。「日本の白砂青松百選」「日本の渚百選」「日本の水浴場55選」に選定される風光明媚な海岸が広がっています。町の中ほどには、山陰最古の歴史をもつ岩井温泉郷があり、湯治湯としてにぎわっています。棚田は、兵庫県境に近い山の懐にひっそりと抱かれるように広がっている「どんづまりの棚田」で、夕日が映える県一・二を競う美しい棚田です。「来て、見て、体験して、語りあう棚田」を一緒につくっていきましょう。

<こんな試みやっています!>

- 鳥取県直営「棚田ファンクラブ」会員有志による「棚田保全ボランティア隊」を受け入れ。
- 臨海学校での「ラッキョウ切り漬けの体験」など体験民宿を行っており、棚田農業も体験メニューとして検討中。

徳島県上勝町

上勝町は、四国山脈の南東山地にあり、1439mの高丸山を最高峰とする山脈が重なり、東流する上勝川が深い渓谷をなし、その流域にわずかな平地が見られるほかは、大部分が山地で山腹斜面に階段状の田畑がつけられています。棚田はもっとも高いところで標高600mのところ開かれ、石積み工法が多く見られます。

<こんな試みやっています!>

- 月ヶ谷温泉を活用した「都市と農村の交流センター」を建設。ここを拠点に交流事業を促進。ブナの原生林散策の日帰りツアーなどを企画。
- 「上勝ファン交流事業」による農作業体験。
- 「上勝の棚田を考える会」による棚田フォトコンテスト、ミニシンポジウムの開催、水車づくり、曼珠沙華植えなどの景観づくり。
- 小学校の統合跡を活用した「自然の宿あさひ」を拠点に森林ボランティアや農業体験を実施。
- 温泉に隣接したキャンプ場にも滞在型農林業体験拠点施設を建設。

福岡県星野村

村の中心部には、熊渡山に源を発した星野川が流れ、川に沿って、集落が点在しています。棚田は、見事に整備された石垣、あぜ一面に咲き誇る真っ赤な彼岸花と収穫直前の黄金の稲穂のコントラストが美しいところです。さらに、棚田形成を物語る「耕作発願碑」（天保8年、1837年）が発見されました。これは、全国でも発見例がなく、注目を集めています。

さらに、美しい星やアウトドアレジャーが楽しめる「星のふるさと公園」、「池の山キャンプ場」、「星野温泉」、星をテーマにした「星の文化館」、また名産品であるお茶をテーマにした「茶の文化館」もあります。

<こんな試みやっています!>

- 児童数約50人の星野村立仁田原小学校では、「山村留学」を実施。留学生生活を1年間送られる小学校3~6年生を募集しています。
- 村で開設している、いきいき農園で「いもほりむらオーナー」を募集しています。

岡山県中央町

農政局単位では、全国の傾斜地帯水田率は、中四国農政局(29.4%)がトップとなっており、中四国管内では、徳島県(28.0%)について岡山県(21.2%)と2番目です。中央町の棚田がある地区は、標高400mの山間地に位置する大きな谷全体に、360度、すり鉢状に42.2ha、850枚の棚田が広がっています。さらに、この地区は、中世密教の神秘さをとどめた地区で、棚田と合わせての見学者が多いところです。美しい棚田の景観の裏面にある強い苦勞を、多くの人たちに理解してほしいと思います。

<こんな試みやっています!>

- 昭和62年より大阪中央区無農薬研究会と契約による「棚田天然米」の販売。
- 「棚田天然米」の消費者との「田植え・稲刈りツアー」の開催・交流(主催:むらおこし協議会・JA)。山間の清流で栽培した「棚田天然米」は、安全で食味も優れています。これらの栽培を目で確かめ、実際に参画してください。

山口県油谷町

棚田の地域は、向津具半島にあり、日本海と油谷湾の海に囲まれています。水田と海、水田と漁り火等、田と海のコントラストは最高です。町は、楊貴妃がたどり着きなくなったという伝説により「楊貴妃の里」として活性化を図っています。海水浴場、海産物、魚類が豊富な上に、棚田米や但馬牛などの食材も豊富で、油谷湾沿いは、温暖で大小の島々が点在し、目の保養となります。

棚田で農業生産活動を行うことは、厳しい条件にもかかわらず、食の提供と自然保護の維持に努めていることであり、この重要性に関心をもってほしいと思っています。

<こんな試みやっています!>

- 「棚田ボランティア」のイベントを今年より計画し、町内外より50人申し込みを受け、「コスモス蒔き」と「田植え」を行います。
- 秋には、「コスモスの観賞と稲刈り・はざ掛け」を100人程度で行う予定。

高知県梶原町

雲の上の町、梶原町。日本三大カルスト高原を分水嶺として流れ出た水は、四万十川の源流となって、日本一の清流をつくりあげています。梶原町の東の玄関には、山の斜面に、天に向かって築き上げられた石積みの棚田があります。これを眺めた作家、故司馬遼太郎氏は「万里の長城も人類の遺産だけれど、梶原の随所にあるという千枚田も大遺産やな」と語りました。また1000年を超える歴史を誇る津野山神楽に代表されるように、歴史と文化の町で、坂本龍馬の脱藩の際、宿したところでもあります。藩政時代から旅人に茶葉の接待をしたと伝えられる「茶堂」は、梶原のもてなしの心の象徴です。

<こんな試みやっています!>

- 平成4年から「千枚田オーナー」を実施。四万十川にちなんで、1区画(100m)4万10円。今年度は、30区画。米づくりを通して、自然とのふれあい、人々とのふれあいをとても大切にしています。ぜひ、チャレンジしてみませんか?

三重県紀和町

平成4年、地元農家で保存会を結成し、約500枚であった千枚田を1340枚にまで、復田しました。基本的には石積みの棚田で、田一枚一枚の面積が小さく、ほとんどが手作業で耕作されます。田全体が南向きで日照時間が長く、夕日が田を映し出すとすばらしい景色になります。日常の管理をしている千枚田保存会の高齢者パワーは、平均年齢約65歳とはいえ、千枚田で鍛えた足腰でまだまだ若い者には負けません。また田をまかっている水が自慢。水源の1つ、宮ノ谷の湧水は一度飲むと忘れられません。

<こんな試みやっています!>

- 「オーナー制度」。ただいま約100組です。
- サポーター制度「千枚田を守る会」。これは、1口1万円、お礼に収穫したお米を1升お送りするというものです。8月末まで受付中。
- そのほか、イベント「田植えまつり」「案山子づくり体験とコンテスト」「稲刈りの集い」。
- 農村漁村との子ども交流がはじまりました。

鳥取県若桜町

氷ノ山後山那岐山国定公園の裾野に開けた^{つばき}米地区は、氷ノ山(1510m)の麓、標高600mの高台に棚田が開け、農地25haの大部分が土水路を利用しており、現在でも昔ながらの棚田の美しい風景が残っているところです。

「わかさ氷ノ山」にあるゲレンデは、「関西の蔵王」の威名をとるほどです。ここに、今年7月「氷ノ山自然ふれあいの里」がオープンし、宿泊施設、「自然ふれあい館」、オートキャンプ場などが開設します。

<こんな試みやっています!>

- 県から「棚田保全ボランティア隊」が派遣。耕作放棄された棚田の草刈りをし、地元住民との交流を深めました。
- 今年は、草刈りや水路掃除、イノシシ用防護策の設置、景観作物などの定植を実施し、地元住民との交流を深めていく予定です。
- 「氷ノ山自然ふれあいの里」を活用した自然体験の取り組みを検討中!

徳島県井川町

四国の中心部に位置し、吉野川や四国山地の豊かな水と緑に囲まれ、古くから山腹の傾斜地を利用した耕作が営まれ、先人たちの手によって階段状にした棚田の美しい農村風景が築き上げられました。山間で茶畑と隣接した棚田、ていねいに積み上げられた石積みとそのほりどりで、静かな音をたて井内谷川へと流れていく谷間の棚田は、風光明媚な被写体となっています。21世紀に向けて情報発信をし、「小さな町の大きな交流」を推進しています。

<こんな試みやっています!>

- 標高650mの山間部に、都市と農山村との交流を目的に施設、「メイト文化村」を整備しています。ここには、棚田を利用したキャンプ場、棚田景観を眺められる遊歩道などがあります。オープニングでは、棚田を使つての「ちびっ子泥んこサッカー」「田植え体験」などを実施。
- 「大学の森」では全国の大学生が林業体験。
- 「ふれあい農業体験」を実施。

長崎県波佐見町

波佐見町の棚田は、山間のすり鉢状の美しい棚田で、すべて石積みです。棚田のある鬼木郷地区は、純農村集落で、そのなりの中尾郷集落は、純農業集落で、ここでは、毎年4月の第1土日に「桜陶祭」が行われます。

波佐見町は、400年の歴史を有するやきもの産地で、全国日用食器の14%のシェアを占めています。町内には、世界の窯、12基を整備した「やきもの公園」、町立の農民具資料館もあります。農産物は、米「清流ホタル米」、グリーンアスパラガス、梨、茶、和牛などです。<こんな試みやっています!>

- 鬼木郷集落で運営する「鬼木農産加工センター」があり、加工食品をつくっています。
- この7月、大阪枚方市と友好都市交流を宣言し、枚方市にて、はさみ焼展を開催するほか、枚方市よりツアーが来町します。
- 宿泊しながら、やきものづくりが体験できる「伝習館」も整備しています。

長崎県南有馬町

島原半島の南西部に位置し、石積みの棚田が特徴的な町です。場所によっては雲仙岳を背景に棚田の景観が望めます。南有馬町は、農業が主幹産業で、温暖な気候を利用した水稻、露地、園芸、施設園芸、果樹、畜産などを組み合わせた複合経営が主。昨今では、トマトの施設栽培が盛んで、県一の生産量を誇っています。また、馬鈴薯の生産も盛んで、春と秋の二作の精算が可能なおところでもあります。

観光地としては、島原の乱の主戦場となった原城跡の所在地であり、長崎平和記念像の作者である北村西望翁の生誕の地で、生家を含んだ西望公園等があります。

交流等の試みは、いまのところありませんが、私たちは、大規模な田畑で大型機械を利用して生産された農作物だけでなく、棚田のような先祖から受け継いだ、猫の額ほどの小さな土地で手間暇かけて栽培された農作物も食していることを改めて考えてみてはいかがでしょうか。

宮崎県高千穂町

高千穂町は、九州の中心部にあり、中央に五ヶ瀬川が貫流して一大渓谷をなし、名勝高千穂峽の景観と併せ、雲海で有名な国見ヶ丘や高千穂神社、天岩戸神社などがある神話と伝説に彩られた町です。森林が90%を占め、「猫の額」のような耕地、しかも棚田に頼らざるを得ない状況です。祖先の人々の労苦の結晶をぜひ都会の方々にも親しんでいただきたいと思います。<こんな試みやっています!>

- 定期的に「ホームスティ」などを行い、子どもたちに自然に親しんでもらっています。
- 「フォレストピア構想」を昭和61年より立ち上げ、森林の恵みを上手に利用していきたいと心豊かな生活ができるような「森林理想郷」を目指して町づくりをしています。
- 地域全体で国際交流に取り組んでいる地区(秋元地区)があります。青年たちの「グリーン会」、若妻の会「ルーージュ会」で、海外のお客さまの民泊など積極的に行っています。

佐賀県西有田町

九州は西の果て、西海・肥前の地を見下ろす国見山の麓に展開する棚田は、すべて石積みだけで築かれています。その広さは、大阪城にも劣らないでしょう。用水は、すべてため池と山林からの流水を水源としており、先人の苦勞が偲べれます。

そのほか、世界の羨望的「有田焼&古伊万里」。日本の名水百選の「竜門の清水」の渓谷美の中で、芸術的な器で飲む地酒と名水にさらした川魚料理、棚田米、郷土料理を堪能するのも風流です。ぜひお越しいただき、棚田での農業を体験されてはいかがでしょうか。<こんな試みやっています!>

- 平成8年の第2回全国棚田(千枚田)サミット開催を機に、棚田地区の若手グループ「岳信太郎棚田会」が発足し、「棚田米オーナー制度(棚田米ふるさと農園)」を実践しています。最近では、「棚田は地域の情報発信源であり、棚田を生かした町づくり」を行っています。

長崎県福島町

棚田と海と点在する小島、その波間に落ちる夕陽は、幼い日に見た“夕暮れ”を想起させられてくれます。福島町は、伊万里湾に浮かぶ面積約17km²の小島です。昭和42年に“福島大橋”により半島化され、交通の便も良くなりました。地元で獲れる車エビは全国的にも有名です。

- <こんな試みやっています!>
- 特別なイベント等は、行っていませんが、棚田の景観が写真愛好家にとって、撮影ポイントとなっていることから、駐車場の整備、写真パネル、常設イスの設置などをして、ツアー客などへの対応をしています。最近では、田植え期以外にもカメラマンの姿を見かけるようになり、今後は、地元住民に何らかの形で還元できるシステムを考案中!

福岡県浮羽町

筑後平野の東端、浮羽町。耳納連山を後方に望み、九州を代表する筑後川に面しています。農業を主産業に1年中果物の甘い香りが漂う町です。町全体が山村公園で、福岡・北九州都市圏から日帰りできます。棚田は、山石や川石をそのまま積み重ねた素朴な石組みで、標高250~500mにあり、農家が植えたレンゲや彼岸花などで美しく彩られます。2000年全国棚田(千枚田)サミットは、浮羽町と星野村で開催。すばらしき故郷づくり「棚トピアン」になろう!

- <こんな試みやっています!>
- グリーン・ツーリズムを推進し、「長岩公園交流促進センター」などを建設。
- 「棚田オーナー制度」を行い、「棚田inうきは 彼岸花めぐり」などのイベントも開催。
- 「棚田応援団」名刺を配布しています。
- 「棚田保全マップ」(ふるさと水と土の物語)を作成し、配布しています。
- 棚田絵葉書やパンフレットを作成。

長崎県千々石町

県南東、島原半島の西部に位置し、橘湾に臨んでいます。地形は带状で、海岸線より東にかけ、次第に高く、すり鉢状を呈し、その中央部を雲仙連峰を源とする千々石川が貫流し、水田を灌漑しながら、橘湾に注ぎます。海岸線は、白砂連なる砂浜で、「日本自然百選」「白砂青松百選」に選ばれています。

- 千々石町は、すべての生命が調和したスマイリータウンです。今日もきっと新しい感動に出会えるはずです。<こんな試みやっています!>
- 「島原半島がまだ計画」の中の「がまだすアグリ王国宣言推進事業」で東京・原宿において、6/26、「千々石石店コーナー」を開催。特産品の試食に合わせて、わらでつくった「ミニぞうり」と竹でつくった「マゴの牛」をプレゼントしました。こうしたイベントで、田舎の文化を実際に体験していただき、田舎の良さを知ってもらおうとしています。

丸みは棚田を見たか!

「棚田パノラマ体験展」

1999年7月27日(火)~8月8日(日)午前10時~午後7時

*8月2日(月)休館、8月1日(日) ●最終日は、午後6時閉場

日本橋三越本店7階催物会場【入場無料】

主催:全国棚田(千枚田)連絡協議会

問い合わせ:<企画制作>ふるさときゃらばん TEL042-381-6721

棚田を体感できる3つのエリア

【体感エリア】 全国36市町村の棚田が、ズラリ、勢揃いします。大型コルトンで並ぶ写真は圧巻。棚田が再現され、大パノラマ前のミニステージでは、神楽などのイベントやトーク・ライブが行われます。

【楽習エリア】 ほんものの生きものが展示され、棚田がもつ環境保全のしくみがわかるジオラマや春夏秋冬の棚田のくらしがわかるジオラマ、そして、自然の素材を使った工作などのワークショップが行われます。

【交流・アクセスコーナー】 出展自治体の物産をはじめ、米、お酒などさまざまな棚田関連の食やグッズが集まります。さらに、「田植え・稲刈りツアー」、「オーナー制度」など、都市との交流情報も提供します。

鹿児島県栗野町

県北部の霧島山麓の山裾に位置し、なだらかな畑地帯と町の中央部を貫流する川内川流域に、水稻を中心に畜産、茶、たばこ等の複合経営による農業生産を展開しています。幸田地区は、江戸時代に残された石積みの棚田がいまも残り、河川にはホタルが飛び交い、山中にはエビネや彼岸花が咲く、のどかな農村地帯です。

そのほか、霧島山麓の地下水が満々と湧き出る「日本名水百選」に選ばれた丸池やハナシヨウブ自生の南限地でもあります。

<こんな試みやっています!>

■棚田を利用した「産直交流」。栗野町観光特産協会主催で、田植え、草取り、稲刈り脱穀・収穫祭を年間15000円で行っています。

■「ホタル飛び交う清流の里 山村留学」町立幸田小学校にて、1年間。

■「水田ゴルフ」も行っています。

■幸田地区の米を使って、県内発の清酒「幸寿」を生み出しました。

宮崎県五ヶ瀬町

町の南西部から南部、南東部にかけて標高1200~1600m級の山々が連なり、北西部には阿蘇の山々を展望するなだらかな丘陵地帯が広がっています。棚田は、用水路開設に伴い、なだらかな丘陵地を優先して開田された地区が多く、当時の飢餓から脱出する命の田でした。日本最南端の「五ヶ瀬ハイランドスキー場」のほか、全国初の公立中・高一貫「県立五ヶ瀬中等教育学校」は、全国から生徒が集まり、21世紀に向け自然を生かした教育が実践されています。

<こんな試みやっています!>

■県民生活協同組合主催による「田植え・稲刈り交流会」(毎年6月・10月開催)

■「夕日の里フェスタ」(桑野内地区で都市交流を目的に、毎年10月開催。参加者は民泊)

■グリーン・ツーリズム整備構想に基づき、地域資源を生かした滞在型農山村空間づくり。

■宮崎県フォレストピア構想に基づき、「森林教育の森」を整備。(合宿等受け入れ)

宮崎県日之影町

日之影町は、県北部にあり、熊本を源流とする五ヶ瀬川が東西に貫き、日之影川などが合流する深いV字型の渓谷の町です。町土のほとんどは自然の姿を美しくとどめ、棚田は、これに包まれるように川の兩岸台地に階段状に拓かれ、点在しています。地形は急峻で面積はきわめて小さく、石積みの水田も多く見られます。大正から昭和にかけての用水路開削で、畑を田に変えた形の整った棚田です。

「橋と渓谷と温泉の町」で、大小、215の橋があり、水面からの高さ137mの東洋一の「青雲橋」が観光の核となっています。また平成12年には、水面の高さ143mと日本一高い場所にかかる農道橋「天翔大橋」が完成します。

「高千穂鉄道」の旧日之影駅に、温泉がひかれ、駅と温泉が合体した「日之影温泉駅」は、県内外の多くの人から親しまれています。また、県一のくりの産地で、来年7月「全国くり大会」が開催されます。

会長がかわりました

——全国棚田(千枚田)連絡協議会

会長を退任します

長野県東埴市長
宮坂博敏

全国棚田(千枚田)連絡協議会の会長をお引き受けしてから一年が過ぎ、この四月からは新潟県安塚町の矢野町長さんにバトンをお渡しいたしました。

振り返りますと、この一年は、棚田地域等保全対策事業をはじめ、中山間地域の農業振興への本格的な取り組みが始動し、本会が設立当初から強調して参りました直接補償制度の導入も前進した年であり、歴史的文化遺産である棚田の保全に向けた大きな支えが見えてきましたことは、本会はもちろん私自身も思い出に残る年となりました。

また、棚田と私たちの関係と題した第四回棚田サミットでは、矢野町長をはじめ実行委員会の皆様のご協力により成功のうちに開催できましたことにあらためて深く御礼申し上げます。

最後に、全国の会員各位、ご支援いただきました農林水産省はじめ国、県、関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。退任のご挨拶といたします。

会長に就任します

新潟県安塚町長
矢野学

昨年、開催いたしました第四回全国棚田(千枚田)サミットに、大勢の方から参加をいただき、ありがとうございました。

まさに「生きている文化遺産」棚田の、多面的な機能を発揮させ、21世紀へ光輝く農業にするためにも、積み重ねられたサミットの主旨を踏まえ、ネットワークを広げ、さらに棚田保全に向け、努力してまいりたいと思っております。

本年は、劇団ふるさとさやらばんの協力のもと、東京で「棚田パノラマ体験展」が企画されています。また各地でも棚田に関するイベントが計画されており、全国的に棚田に対する関心が環境問題も含め、高まってきています。

棚田のある農山村は、まさに資源の宝庫です。日本全国に棚田保全の輪をさらに広げ、後世に残していくことが大切と考えます。

今後は、中山間地農業の振興を全国棚田(千枚田)連絡協議会の皆様のご協力のもと、直接所得補償制度への理解と充実、棚田地域等保全対策事業の継続など積極的に活動を展開してまいりたいと思っております。棚田に熱い想いを寄せる皆様のさらなるご支援をお願い申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。

全国棚田サミットニュース

第10回

三重県紀和町

■期日：99年9月18日(土)~19日(日) 三重県紀和町にて

■テーマ：「未来につなげ、水のピラミッド—人と地域の元氣おこし」

■開催日程

【9月18日(土)】

9時~..全国棚田(千枚田)連絡協議会理事会

10時半~.. 総会及び

13時~..「ふるさと探険」

■紀和町企画観光課 TEL..05979・7・1111

三重県紀和町

取材・文・石井里津子

農家自らの手で、578枚の田を 7340枚に復田し、 守り続ける「丸山千枚田」

復田への取り組み

雨あがり、丸山千枚田の中に立つと、ジャバジャバと水が、田から田へと落ちていく音がした。見上げると、小さな田から田へ小さな滝が随所にでき、水を落とっていた。7町ほどの耕地に1340枚の田があるという。ならば、この小さな滝もその枚数分あるのか。用水路を使わない、小さな田ごし灌漑が、山の斜面いっぱいになり、豊かな水を満々と流していた。

三重県紀和町丸山地区、ここにある山一面の棚田は、いつからともなく「丸山千枚田」と呼ばれ続けてきた。400年前の古文書に、2240枚、7町歩あったと記されている。戦後、最も耕作された時期で13町3反あったことから2500枚はあ

っただろうといわれている。

そんな千枚田が、荒れはじめたのが、昭和30〜40年代だった。平成に入り、前紀和町長・中浦敏夫氏は、そんな光景に胸を痛め、「祖先に申し訳がない。無為無策で、崩壊させてしまうことだけはしたくない」と丸山地区に保全を呼びかけた。

1992年、町長の呼びかけに、丸山地区の30戸の農家は頭を抱えた。「いまさら、ようせん」。高齢化が進んでいた。ちなみに現在で、紀和町は高齢化率全国2位、47・5%。丸山地区は57・1%である。

1年間話し合いは続いた。役場の職員も公私を忘れて、千枚田保存を呼びかけ続けた。そして翌年、地区全戸で「丸山千枚田保存会」を結成し、町は「千枚田条例」をひいた。こうして丸山千枚田の復活と保存に、町と地区が立ち上がったのである。このとき、耕作されていた田の数518枚。「丸山千枚田」の名に恥じぬよう、せめて1000枚にはしたい」と復田作業がはじまった。

地域が元気になった

30年放置してきた田は、低木が生え、草が生い茂り、荒れ放題で、まるで山だった。当時保存会会長（現副会長）北富士夫さんを中心に地区の農家は、木を切り、草を刈り、焼き、あぜ

を固め、田を起こした。

当時、正直なところ、保存会は結成したものの、地区の人たち全員が、復田に対し積極的に賛成していたわけではない。なぜなら「復田しても、そのあと、だれがここをみていくのか」、そうした後継者問題が解決できていなかったからだ。

だが、数人の人たちは動いた。「先人たちが残した遺産を守ろう。そして、ここを日本一の千枚田にしよう。日本一にすれば、次の道は開けるはずだ」と。

そして、都市の人が動き、「オーナー制度」がはじまり、復田が進むに連れ、マスコミが訪れた。また、多くのカメラマンがその美しい景観を撮りに訪れた。現会長小西宏さんをはじめ、みな口をそろえていう。

「地域が元気になりました。今まで近所同士会話もなかったのが、よく笑い、話をするようになった。年寄りが、といつてもみんな年寄りですけどね。みんな表情が生き生きして、病気がなくなっただけです」。

不思議なことには、ここ数年、この地区にはお葬式がほとんど出ないのだそう。地域が変わってきたのである。いまでは、地区全体に「丸山千枚田を保存し、次代に残そう」という気運は定着し、みな動きはじめた。区長の東益男さんは語る。「町が年800万円ほどの予算をつ

けてくれたので、保存会がやっています。行政がまず動いてくれたからやれたんです」。

行政が果たす役割は大きい。かつて紀和町は、鉾山で栄えた町だった。戦前1万2000人ほどの人口が、1978年の鉾山閉山後減り続け、いまでは1886人になった。産業の主幹を鉾山にもついていた紀和町は、新たな転換を強いられ、選択した道は、観光地への転換だった。

鉾山跡の調査ボーリングで温泉が出たことが、きっかけだった。大きな目玉はなくとも、小さなスポットをつなぐと、さまざまな試みをしている。その一つ「きらずの森」も、条例を制定し、今後一切木を切らず、1000年、3000年後、太古の森をつくろうというのである。

そして「丸山千枚田」も、いまや町の観光ルートからははずせない名所となった。

「文化遺産」として

先人の知恵と工夫を守る

この千枚田は、まさに「文化遺産」といえるだろう。先人たちの知恵と工夫がくつきりと残され、元どおり復田がされているからだ。確かに、復田したあとのあぜは、まだ弱々しいが、400年前と同じ順番で田を越えて水が落ちていっている。北さんはいう。

「下手に手を入れて整備すると、水が行き渡らない田が出てくるかもしれないです。先人たちが、田から田へうまく水の流れをつくってきているでしょう。先人の経験からくる知恵は、計算じゃ出せないんですよ」。

しかも、田を大きくすれば、その分、あぜが高くなり、水の落下衝撃が大きくなる。その衝撃を小さくするために、高低差を極力小さくして、田やイネへの被害を出さずに来たというのだ。よく見ると、稲株が数株しか植わっていない田もある。北さんは、復田をしながら、そんな知恵を身をもって理解したのである。「その知恵を伝えていくのが大切」と語る。

最近、保存会では、田を維持管理していく後継者を見つけたいと、地区の40代への呼びかけなどにも力を入れはじめた。

町も新たに「丸山千枚田を守る会」として1口1万円（収穫した白米1升付）のサポーター会員を募集しはじめた。

田んぼに残された「文化」を守り、次代に伝えていく道は、はじまったばかりである。こうした文化的価値のある田の将来は、価値が大きい分、地域のくらしを十分に踏まえながら、地区と行政、また都市住民が丸山となつて考えなければ、地元農家の方だけには、あまりに重すぎるように思えた。

中国地方で柵田市民ネット立ち上げ



さる6月5日、広島市で、柵田を守りながら、地域文化の発信や柵田を活用した地域活性化を目指そうと「柵田ネットワーク中国」が発足した。この会は、中国地方の全国柵田（千枚田）連絡協議会会員を中心に、柵田に関心のある人々、45人でスタート。設立総会と同時に行われた柵田フォーラム「現在、柵田に風が吹く」には、約40人が参加し、中国地方での柵田への関心の高さを表した。設立発起人の河野寛美さんは「柵田は、地域住民が主体となって、都市側が力を注ぎながら守っていくしかない。そうした中、この会は、何をすべきかを語っている。今後、柵田に関する情報交換をはじめ、交流事業の推進、調査・研究、助言・提案活動などを行っていく予定だ。問い合わせは、河野設計室 TEL 082-238-1246

修学旅行で田植えを体験

体験と感動を子どもたちに与えるために、新潟県安塚町をはじめ東頸城6町村で組織している広域まちづくり委員会では、「越後田舎体験」と名付け、小・中学生を対象に体験型の修学旅行の受け入れを春から進めています。田植え、そば打ち、山菜採りなど農業体験をはじめ、自然・環境・文化についても体験を通じて学習します。現在、すでに受け入れが始まっています。

5月11～14日の3泊4日で横浜市立小田小学校114名が安塚町に訪れ、田植え体験をはじめ、農家に民泊をしました。農家の方々は、孫ができたようだと楽しみにこの日を待っていました。

田植え体験では、農家のみなさんが先生。初めて田んぼに入った子どもたちは、恐る恐る足を入れ、カエルを見つけると「キャー、あっちへ行け」と叫んでいる女の子。「ゲンゴロウだ」と追っかける男の子。いろんな発見をしていたようです。

別れ際、子どもたちも先生も涙ぐむ1コマも。単なる体験観光で終わることなく、体験に応じてテーマを設定し、何か一つでも感じてとってほしいと考えています。（安塚町総合課・志賀陽一）

姨捨——名勝指定

本年5月10日付で「姨捨(田毎の月)」が名勝に指定されました。名勝とは文化財の呼び方の一つで、景色のすばらしいものや名所などが文部大臣より指定されます。

では、なぜ姨捨は名勝に指定されたのでしょうか。

姨捨に限らず、全国の柵田は耕作が大変なため荒廃が進んでいきます。しかし近年では柵田の価値が見直され、柵田を保全するために、さまざまな活動に取り組み地方自治体が増えてきています。更埴市でもオーナー制度（柵田貸します制度）の創設や柵田サミットの開催により、柵田保全の気運が高まってきていたところでした。姨捨の名勝指定も柵田保全活動の一つといつてよいでしょう。

このような状況の中で名勝に指定された姨捨には、以下のよい点があります。

- ① 柵田のもつ国土保全機能が評価されたこと。（柵田には地すべりを防止するなどの機能があります）
 - ② 柵田がかたちづくる景観が素晴らしいこと。（姨捨駅や姨捨サイビスエリアからの展望はとて素晴らしいものです）
 - ③ 和歌や俳句に詠まれた文学的・歴史的空間が評価されたこと。（平安時代より姨捨山の月は和歌に詠まれ、江戸時代の中頃には松尾芭蕉が来訪し、姨捨は俳人達の名所となりました）
- このように、姨捨の柵田には柵田本来の機能に加え、他の柵田にはない文学的・歴史的な価値もあり、後世まで守るべき財産文化財であると名勝指定されたのです。今後、柵田を国民の財産とし、柵田の重要性を全国に発信することで、中山間地農業保護への国民理解を深める契機にもなると考えています。（更埴市教育委員会）

事務局が変わります!

本年度、事務局担当になります新潟県安塚町まちづくり振興課の俣野でございます。子どものころ、学校帰りのあぜ道の小川には、水がキラキラ輝いて、ホタル草が長く尾を引き、メダカ、ドジョウがたくさん泳ぎ、草に見え隠れして、カラス貝やタニシもたくさんいました。時が流れ、圃場整備がなされ、姿も変わりました。しかし、山に登ってみると四季が織りなす田んぼの風景は情緒があり、風情があります。一面に広がっていたタンポポ畑を思い出しながら山のてっぺんに立つと、時代の移り変わり行く中で、またひと味違ったふるさとを発見できます。そんな田舎体験にぜひおいでください。

全国柵田（千枚田）連絡協議会の会員の皆様、仲間の輪を広げ、ネットワーク化を図っていきましょう。よろしくお願いいたします。昨年事務局を頑張っていたいただきました長野県更埴市の担当者の方、本当にご苦労さまでした。（俣野良夫）

新しく会員になったみなさま

- | | | | | | | |
|----------|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------|--------|
| 正会員〈自治体〉 | 新潟県古川町 | 岐阜県恵那市 | 兵庫県村岡町 | 島根県三隅町 | 山口県本郷町 | 愛媛県三崎町 |
| 正会員〈団体〉 | 香川県財田町 | 佐賀県小城町 | 佐賀県嬉野町 | | | |
| 正会員〈個人〉 | 青森県土地改良事業団体連合会 | 福井県土地改良事業団体連合会 | 和歌山県土地改良事業団体連合会 | 兵庫県土地改良事業団体連合会 | | |
| 賛助会員〈個人〉 | 新潟県/村松二郎 | 千葉県/品田 譲 | 神奈川県/成川亮治 | 徳島県/村上公治 | 佐賀県/川崎敏美 | |
| | 鹿児島県/佐藤真一 | | | | | |

会員募集中

全国柵田（千枚田）連絡協議会
お申し込み・お問い合わせは協議会事務局
新潟県安塚町役場まちづくり振興課
新潟県東頸城郡安塚町安塚722-3
TEL 02559-2-2003 FAX 02559-2-3505

編集後記

さる6月12日、新潟大学の伊藤忠雄教授を中心に立ち上がった「流域交流ネットワーク」(山と里と海の人がネットワークして、柵田地域の問題などを考えていく)の発足式に立ち会わせていただきました。そのとき、上流地域代表として、安塚町の農家・池田勲さんがいった言葉が印象的でした。「私は、いままで山で農業をやっているだけだった。だれも怠けないうちに、だれも困ったといわないうちに、気がつくと山が荒れていた。そして山が荒れていくことによって、水が下流にいままでのように流れなくなるなんて、気づかなかった。山にいる責任を果たし、われわれが何をやらなきゃいけないのか、本当にこれでいいのか、山間地にいる人間が考えなくてはならない」。あまりに実直で重みのある言葉でした。交流をしながらそれぞれの地域が何をすべきか考えていきたいものです。さあ、ライステラスで情報の交流も忘れずに。情報お待ちしています。石井里津子